



## 令和2年度名取市協働提案入門コース採択事業

### 村岡恵理さん講演会～村岡花子と『赤毛のアン』～



11月7日(土)に増田公民館ホールで、「村岡花子と『赤毛のアン』」と題して、村岡恵理さんの講演会を行いました。この講演会は、令和2年度名取市協働提案入門コース事業に採択され、市から助成を頂いています。講師の村岡恵理さんは、『赤毛のアン』の翻訳者村岡花子さんのお孫さんにあたります。ここで村岡花子さんの生涯について簡単にご紹介しましょう。

1983年(明治26年)甲府生まれ。父逸平は、茶商でクリスチャン。10才の時、東洋英和女学院に給費生(奨学生)として入学。学院時代は、友人の柳原燐子(白蓮)の影響を受け、和歌や日本の古典を学ぶ。1919年、26才で村岡徹三と結婚。1923年、関東大震災で夫の印刷会社が倒産、全てを失う。1926年、最愛の一人息子を6才で、疫癘で亡くす。1939年、帰国する宣教師から『赤毛のアン』の原書をもらい、戦争中に翻訳。友人知人に、平塚らいてう、与謝野晶子、片山廣子、広岡浅子、市川房江など。1968年、75才で亡くなる。

今回の講演では、村岡花子さんの、生身の人間としての心温まるエピソードをたくさん紹介してもらい、村岡花子さんの生きた素晴らしい世界を知ることができました。

コロナ禍で、本当に開催できるかハラハラしましたが、柴崎館長をはじめ、多くの関係者の努力と英断により、無事開催することが出来ました。本当に感謝いたします。今回の講演会は大変人気があって、予約はすぐに埋まり、当日も何とか参加できないかと会場に来られた人がいたほどでした。

講演会の最後に、なととから村岡恵理さんに花束と記念品を贈りました。また参加された方には、なととのメンバー手作りのストラップと「復興ありがとうホストタウン推進室」で作ったトートバッグをお土産としてプレゼントしました。終わってみて、改めて講演会を開催した充実感を実感しています。皆様、本当にありがとうございました。



### 村岡恵理さん講演会アンケート「講演会へのご意見・ご感想」から

参加者は、113人。お陰様で70%強に良かったとの評価をいただきました。

・コロナ禍の中、久しぶりに温まる講演会に参加することができ、感動した。明けない夜は無い、曲がり角の先には幸せが待っているとの言葉を信じ、日々を送っていきたい。 ・激動の時代にあって、ご長男を亡くしてなお、文学を子ども達に伝えることを使命感を持って成し遂げた花子さんの人生に共感した。 ・作家や作品を紹介して欲しかった。 ・いつかカナダに行きたい。 ・2012年に先生とお姉様の公演に参加したことをきっかけに7年前から仙台で輪読会「赤毛のアン読書クラブ」を開催。コロナの中でも赤毛のアンシリーズを声に出して読むことで、参加者の皆さんと共に元気をいただいている。

その他に「赤毛のアン」の愛読者、ファンで、訳者の村岡花子さんのお話を聞けてとてもよかったとの感想が、沢山寄せられました。ご協力ありがとうございました。

工作コーナー  
ペットボトルの  
ふたで作る  
クリスマスリース



### 図書館まつり開催

12月5日(土)、コロナ禍最中の状況を踏まえ規模を縮小して開催されました。それでもいろんな場で笑顔が見られ、不安な日々が続く中、和らいだ1日になりました。ご協力頂いた皆さんありがとうございました。

「図書館を使った調べる学習  
コンクール」表彰式



みんなのアイドル  
カーナくんもやってきました♡

ビブリオバトル



チャンプは、斉藤楓華さん  
本は「りんごかもしれない」

おめでとう  
2020.11.8

図書館来館者  
50万人達成



50万人目は、関上の  
渡邊さん親子でした。

♪わたしからあなたへ♪

# 本のバトン no.2

「思い出の絵本」

Hiromi.T

私が、この本に出会ったのは小学生の頃です。おおきなおいもで作った恐竜。その赤紫の色が絶妙で、これぞ“さつまいも”っという印象的な表紙です。今でも、スーパーで、さつまいもを見ると、この本を思い出すほどです。

ある幼稚園の「いもほりえんそく」が、雨で延期になり、がっかりした子供達が、空想の「おおきなおきなおいも」で“いもざうるす”を作ったり、“おいもパーティー”をしたり、楽しい1日を過ごします。

私の大のいも好きも、子供達が作った、てんぷら・やきいも・大学いもの美味しそうな絵から影響を受けているのかなあと思ったり。子供の頃に行った「いもほり」の楽しかった気持ちも思い出させてくれる、思い出の絵本です。

鶴巻幼稚園・市村久子の教育実践による

おおきなおきなおいも



「鶴巻幼稚園・市村久子の教育実践による  
おおきなおきなおいも」  
赤羽末吉：さく・え  
福音館書店：出版

## ☆☆9月・10月・11月・12月のナイトライブラリー☆☆

### ★9/25 CDコンサート「映画音楽で世界一周」

柴崎館長の穏やかな心地良いナレーションで始まりました。映画音楽による世界一周です。スタートは、アメリカ。イギリス、フランス、オーストリア、中央アジアと続き、最後は、東京柴又の「寅さん」で締めくくられました。映画は観ていなくてもあのサウンドで、当時のあの世界、あの場面にジャンプします。60分で世界一周。約11km/秒の超高速の旅でした。



### ★10/30 「二つの名取を知っていますか？」

「二つの名取を結ぶ会」代表の大橋信彦氏をお迎えして、もう一つの名取（愛媛県佐田岬半島にある「伊予の名取」）についてお話していただきました。

1615年に伊達政宗公の長男秀宗が宇和島藩主として入国する際に、軍馬の育成や海上警護を担うため同行した名取郡の軍夫が、「名取」という集落を作りました。現在は、90戸200人の住民が柑橘栽培を中心に自然豊かな山肌に暮らしています。

震災時には全戸あげて2度に亘り義援金を名取市にお寄せ頂いたそうです。400年という長い年月を経ても「伊予の名取」の皆さんは、私達の「陸奥の名取」を忘れず大切にされていたのです。

同会では、5年前から交流を始め、「伊予の名取」に松がなくなったことを知ると閉上の松の子孫を植樹したり、尚綱大生や先生と共に訪問したりと交流を深めています。これからも「二つの名取」の「縁」を大切にしていきたいですね。

### ★11/27「和菓子作りに魅せられて」

中澤清彦氏は、和菓子「清昇堂」（市内飯野坂）の店主です。

今回は、柴崎館長からのインタビュー形式で始まりました。

子どもの頃から工場に行くのが好きで、毎日、和菓子作りを見ていたそうです。

和菓子は、日本の気候風土に合い、庶民の生活文化に合せ、その地域ならではの和菓子があるそうです。

和菓子作りの実演では、専門の鋏で、菊の花びらを1枚ずつ作る場所を見せて頂きました。食べるには、もったいないような芸術作品でした。

これからも、今までどおり、安全安心なおいしい、きれいな和菓子を作り続けていくということでした。



### ★12/18レコードコンサート「ベートーヴェン生誕250年」

♪♪♪♪♪♪

3月に予定していましたが、コロナの影響でできず、今回実現できた企画です。生涯学習課の菊地栄一さんのナビゲーターで、交響曲4曲とピアノソナタ3曲を鑑賞しました。12月はベートーヴェンの誕生日でもあり、年末に響く第9も聴けて、タイムリーに楽しめました。どっぴりとベートーヴェンの世界に浸ることができました。



## ☆☆これからのナイトライブラリー☆☆

### ★1/29「酒造りにかける一閑上で造るということー」

ゲストスピーカー 佐々木 洋氏  
(佐々木酒造店 蔵元専務)

対象 20歳以上

\*試飲もありますので、試飲される方は、お車でのご来館はご遠慮下さい。

### ★2/26「みちのくの昔話と伝説

ー東北の言葉で聴く語りの世界ー

語り手 海沼 寿子さん

千葉 ケイさん

(みちのく公園ふるさと村の民話の会)

### ★3/26 (調整中)

時間 19:30~20:30

会場 カフェコーナー

定員 40名 参加費 無料

申込み 図書館へ

## てんごんぼん

♪コロナ禍の中で、「村岡恵理さんの講演会」と「図書館まつり」の大きなイベントが、無事終了しました。感染対策を意識しながら皆さんと協力し終えられたことは、大きな収穫になりました。来年は、「図書館まつり」のメインイベント「ブックリサイクル」の実現や講演会に沢山の参加者を募れる事を祈っております。

♪2021年は、コロナが収束し世界が平穏となり、皆様にとって良き年となりますように。